

全解工連九州・沖縄ブロックの「令和8年度第1回会議」開く
新ブロック長に東氏（佐賀県）就任、九州・沖縄が一丸となって業界発展へ



「D e - 1 グランプリ 2026 × NEXPO」開催などの令和8年度事業計画を決めた
「第1回ブロック会議」

（公社）全国解体工事業団体連合会（略称：全解工連）の「令和8年度第1回九州・沖縄ブロック会議」（ブロック長：東哲生佐賀県会長）が23日、福岡市のWITH THE STYLE福岡で開催された。会議には九州・沖縄8県の役員ら37人が出席し、令和8年度以降の役員・専門委員についての確認や行事報告、令和8年度予算及び事業計画を承認したほか、各県の解体工事等の近況報告、情報交換などがあり、今後の解体工事業の発展に向けて意見交換した。

冒頭の挨拶で、全国解体工事業団体連合会の井上尚会長（井上工業㈱）は、「全国解体工事業の会長を10年間務めさせていただき、これまで全国の皆様方と実際にお会いして意見交換を重ねながら活動を続けてまいりました。その中で、国土交通省からも一定の認知をいただくまでになりました。しかし、今の法制度の中には解体業という括りにそぐわない部分もありますので、このような課題に対して継続的な活動に取り組んでいきたい。私たちの業界は再開発や街づくりを進めるうえでは欠かせない存在であり、



挨拶の井上連合会会長

自分達がこれから街づくりをしていくという自覚を持って仕事に向き合って頂きたいと思います」と挨拶した。

このあとの議事進行は、池田正喜副ブロック長（長崎県）を議長に選出し、①令和7年度の事業報告、②令和7年度の会計報告及び監査報告、③令和8年度の事業計画、④令和8年度の予算報告、⑤令和8年度役員改選、⑥各県の報告事項などが行われた。役員改選では、令和8年度のブロック長に佐賀県の東哲生会長（㈱エコ・アップ）、副ブロック長に長崎県の池田正喜会長理事（㈱エムアイ興産）、ブロック監事に福岡県の妹尾晃会長（㈱妹尾産業）と宮崎県の吉野博朝理事長（㈱吉野土木）、全解工連理事に福岡県の平典明相談役（㈱平組）と熊本県の前田進常務理事（㈱前田環境クリーン）、全解工連監事に福岡県の妹尾晃会長（㈱妹尾産業）が選任された。

令和8年度の行事については、「全解工連第15回通常総会」（山形県・ホテルメトロポリタン山形、令和8年6月5日開催）、「全解工連出展第8回建設・測量展（CSP1）」（千葉県・幕張メッセ、令和8年6月17日～20日開催）、「全解工連青年部第1回全国大会」（千葉県・ホテルニューオータニ幕張、令和8年6月17日開催）、「令和8年度秋開催の九州・沖縄ブロック会議」（佐賀県・嬉野温泉大正屋、令和8年10月29日開催）、「Deer1グランプリ2026×NEXPO」（福岡県・マリンメッセ福岡、令和8年11月21日～22日開催）を予定している。

また、各県の解体工事などの近況報告によると、「福岡県」の民間工事は大型物件が昨年より少ない見込み。公共工事では総合評価方式による建築とJVが多く、昨年より少ない。

「佐賀県」の民間・公共工事共に仕事量が少ない。「大分県」の民間・公共工事共に前年と比べ増加傾向。「熊本県」の民間工事は例年並み。公共工事では例年並みではあるが会員外業者が増えて落札が難しい状況。「長崎県」の民間・公共工事共に前年と比べ増加傾向。「宮崎県」の民間工事は解体工事件数が例年に比べ少ない。公共工事も件数自体が少なく大型物件としては宮崎市役所の建て替えに伴う解体がある。「鹿児島」の民間工事は鹿児島本港区再開発、JR鹿児島中央駅西口再開発、JR鹿児島駅周辺再開発が進んでおり、加治屋町再開発が始まる見込み。公共工事では前年度と比べ発注工事は増加しているが会員の受注件



挨拶の妹尾福岡県会長

数は減少している。国の労務単価の上昇に伴い、県に「とりこわし単価」の引き上げを要望し改定された。今年度も庁舎等公共施設、学校、公営住宅等の解体が見込まれる。「沖縄県」の民間工事は例年と変わらず。公共工事では2025年10月～2026年3月まで20件発注があり、3件が入札不調。解体工事業としての発注は4件などの報告があった。

懇親会では、開催県を代表して妹尾晃ブロック監事が



乾杯の前田熊本県理事

「今年11月21～22日にDe-1グランプリをマリンメッセ福岡で開催を予定しております。また、このグランプリの開催後には、全解工連青年部が事業を進めていただける流れもありますので、全国各地で開催出来ればと願っております。九州沖縄ブロックの皆様方には、是非お力添えの方よろしく願いいたします」と挨拶。前田進常務理事の発声で乾杯し、解体業界の発展を願いながら、和やかに歓談した。